



# 議会報告

**日本共産党  
大東市議会議員団**  
大東市谷川1丁目1-1  
議員団控室直通  
TEL/FAX 871-5588

## 9月議会

- 市府民税を年金から「天引き」する条例を提案
- 平成20年度の補正予算と19年度の決算審査も

●九月議会に「市税条例」の改正が提案されています。内容は、65歳以上で年金額が単身者二五万円以上、夫婦で二二万円以上ある方は市府民税を年金から「天引き」する、「ふるさと納税」制度の導入の二点です。

年金受給者は所得税以外に、年齢により「介護保険料」「や」後期高齢者医療保険料「国保税」がすでに天引きされている。これらに加え今回、市府民税まで天引きされるとのことです。多くの年金受給者から苦情が殺到するのは目に見えています。

しかし年金受給者の多くは口座振替や替えを利用しており、これらはほぼ自動的に、わざわざ年金から所得税と同様に天引きされることは、事務量が増え、煩雑になるだけだ。

●「ふるさと納税」制度は、市民が大東市に寄付をした

### 教育委員の選任も

場合、税額控除が受けられるという点も。

教育委員の伊沼規子氏が退任する後任として、古川真照氏(保護司、元諸福中PTA会長)を選任する議案が九月議会に提案されています。

選任の理由は最近、国が一〇歳未満の子どもの親を教育委員に入れるよう指導しているため、諸福中学校PTA会長や市PTA連合会の役員を務めてきた古川氏に古川氏の矢が当たったという説明です。

### 「大東民報」の題字が変わりました

「大東民報」の主な記事内容が議会報告・政策活動であるため、それにふさわしい題名に変えました。

## 平成19年度決算…一般会計は3億の黒字、国保は累積15億の赤字

平成19年度収支計算書

(単位:千円)

会計	A 歳入	B 歳出	C(A-B) 形式収支	D 翌年度繰越財源	E(C-D) 実質収支	F 前年度実質収支	G(E-F) 単年度収支
一般	39,302,493,599	38,869,469,477	433,024,122	114,907,000	318,117,122	312,753,763	5,363,359
国保	13,951,112,871	15,216,487,156	△ 1,265,374,285		△ 1,265,374,285	△ 1,560,740,186	295,365,901
交通	26,053,016	25,850,612	202,404		202,404	0	202,404
下水	6,267,252,892	6,197,057,269	70,195,623	6,329,000	63,866,623	362,489,189	△ 298,622,566
火災	23,983,940	23,251,876	732,064		732,064	1,275,552	△ 543,488
老健	7,562,976,468	7,664,045,243	△ 101,068,775		△ 101,068,775	△ 34,759,538	△ 66,309,237
諸中	513,365	513,365	0		0	0	0
都市	560,612,680	560,612,680	0		0	0	0
介護	5,209,213,573	5,094,044,498	115,169,075		115,169,075	6,038,630	109,130,445
用地	35,671,457	35,671,457	0		0	0	0
総合計	72,939,883,861	73,687,003,633	△ 747,119,772	121,236,000	△ 868,355,772	△ 912,942,590	44,586,818

### 巡回バス増便求める「陳情」

#### 一 議運委で議題に上げず配布のみの暴挙を強行

大東市議会での「陳情」の取り扱いは、以前は「配布のみ」でしたが、関東圏で「請願」並みに取り扱っていることになって、ここ数年は市政に関わるものについて「請願」並みに委員会付託をし、議題として取り上げてきました。しかし今回、「同趣旨の請願が提出されているから」という理由で巡回バスに関わる「陳情」2本を議題として取り上げず、「配布のみ」と決定したことは開かれた議会に反する態度といわねばなりません。

市会議員 **つとむ 勉** TEL.090-3864-5037

市会議員 **かつこ ともあし 勝子** TEL.090-1079-8939

市会議員 **しげる とびた 茂** TEL.090-7099-8429

### 法律相談

10月2日(木)7時  
大東市民会館  
※要予約、先着順  
871-5588まで

# 野外活動センター(龍間)のイベント式典に団3人が参加



30日、龍間の野外活動センターで夏季キャンプの閉会式である「エンディングセレモニー」が行われ、百八十人が出席、例年、参加している党議員団も二人全員が参加しました。

山崎隆・青少年協会会長は「利用団体は増えているのに、利用者は約五千人で横ばい。これは少子化で子どもが減っていることが原因と思われる。四〇日間、子ども達の世話をしてくれたりリーダー62人に惜しみない激励を」と訴えました。

来賓は、おいしい食事の御礼を述べながら、がんばったリーダー達に激励の挨拶を次々に行いました。

場所を変えて新装なった桜池のステージでは、松明に灯をともしたファイヤーのもとで、四〇日間のキャンプでリーダーを務めた高校生や大学生が「子ども達の笑顔が何よりの励みになった」「仲間を支えられ、リーダーをやって本当に良かった」と口々に新鮮な感想を述べ、参加している我々も感動的な一時を過ごしました。



## JR 駅周辺特別委

### 古崎議員の追及に 担当部長「駅本体など最低限の施設についてのみ、地元負担を考えている」と答弁

8月27日、同特別委が開かれ、新駅建設時の地元負担について集中的に議論が交わされました。

豊声議員は「新駅設置にあたって行政側は駅前広場などが必要というが、我々は駅舎など最低限の施設で良いと考えている」と主張。

古崎議員は「駅前広場などは行政負担で行うべきで、地元負担の対象にすべきではない。これまでに数十億円もかかる全事業費について地元負担をいっから、議論が平行線のままです。なにか、駅本体など最低限の施設に絞る。地元の負担を議論すべきだ」と切り込み、追及しました。

担当部長は「市としては駅前広場などは必要と考えている。『個人的な意見だが』と断った上で、地元負担については駅舎

と通路など最低限の施設について、地元負担を願います。と考えている」と、これまでにない踏み込んだ答弁を行いました。同委員会には地元区長など期成同盟の幹部も傍聴されていたので、「自分の負担」について何らかの進捗があるものと期待されます。

市議会では地元から出された請願の採択にあたって、地元が最大限の経費負担を担い、市、期成同盟、地元がよく話し合う、の一点の「付帯決議」を付けて全会一致で採択しています。



## 9月議会の日程

- ・9月8日 本会議(開会日)
- ・10～11日 いきいき委員会
- ・16～17日 まちづくり委員会
- ・24日 夜間議会
- ・25～26日 本会議(一般質問)

## 大東9条の会『講演会』

10月5日(日)午後2時  
市民会館大ホール

講師 常本 一(ピース大阪職員)ほか